



觀光竜王

Sight seeing RYUO

第87号

— ☆ —
発行
三町観光協会

〒520-2592

賀県蒲生郡竜王町小口3番地

竜王町総合庁舎 西館2

TEL 0748-58-3715

FAX 0748-58-3730

<https://ryuoh.org>

-mail info@ryuoh.org

© 2010 Pearson Education, Inc. All Rights Reserved. May not be reproduced without permission from the publisher.



第24回近江中世城跡琵琶湖一周のろし駅伝 星ヶ崎城址

そして何より、竜王町が町制施行七十周年という大きな節目を迎えた年でもあります。昭和三十年の町制施行以来、先人の方々のご尽力と、町民の皆さまの温かな支えによつて歩みを重ねた歴史に深く感謝するとともに、その積み重ねの上に立つて次の時代を切り拓いていく責任を、改めて感じているところです。こうした歩みを受けて令和九年秋には、滋賀県、そして竜王町の観光にとつて、いっそう追い風となる一年です。まず、JRグループによる「J.R.デステイネーションキヤンペーン」が滋賀を舞台に展開

「戦国デイスカバリー滋賀びわ湖」の取組も本格化し、県内の戦国遺構や城郭、ゆかりの寺社を結ぶ多彩な観光プログラムが展開されます。観光は、地域の誇りと活力を生み出す大切な資源です。七十年の歩みを経た竜王町が、次の世代へとバトンを繋いでいくためにも、「自然・歴史・人」が織りなす魅力をさらによき上げ、訪れる方には心温まる体験を、住む方には「この町に住んで良かった」と感じていただけるまちづくりを、観光協会として進め参ります。結びに、本年が皆さまにとりまして健やかで実り多い一年となりますことを心よりお祈り申し上げますとともに、引き続き竜王町観光協会へのご支援、ご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年あけましておめでとうございます。令和八年の新春を皆さまお健やかにお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。平素は竜王町観光協会の活動に温かいご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。昨年は、色々と節目の多い一年でした。四月には「大阪・関西万博」が開幕し、「国内外から多くの来場者が関西一円を訪れました。新しい交流と賑わいが生まれました。女性の内閣総理大臣として市早苗氏が就任され、日本への改革

され、県内各地の魅力が全国へ発信されます。プレに当たる本年は、わが町の豊かな自然や田園風景、地元の食文化など、童王らしい魅力をしつかりお伝えできるよう準備したいと考えております。さらに、大河ドラマでは「豊臣兄弟」が放映され、戦国の世を舞台とした物語が全國の関心を集めます。湖東・湖西には彼らとゆかりの深い史跡が数多く残されており、竜王町周辺も歴史ロマンあふれるエリアとして注目されることでしょ

竜王町観光協会

副会長
森嶋政文

「未来へ歩む竜王町の一年に向けて」



竜王歴史俱楽部
寺本 泰子 氏
(庄)

『鏡山に魅せられた』

は渓谷。沈砂池へと流れていく水の音に癒される。三十分足らずで大きな鳴谷池（池と案内柱 写真②③）。清々しい水面に映る周囲の景色の素晴らしさ。春の花盛りには、ヤマザクラ、ネジキ、クロモジ、ズミや数年に一度開花するというアオダモの輝く白い花。

「鏡山は、世界でも一番の植物の宝庫、八重谷は、遠く奈良からの道が通つていた」
「鳴谷へ水晶を探りにいった。ポケットに入れて持つて帰つた」

「鳴谷の溪流で水遊びが楽しかった」
鏡山（全景 写真①）は、花崗岩できた山、大昔地下でマグマがゆつくり冷え、その後隆起してできたとい。この山並みは、山中、岩根へと続き岩質としては湖南アルプスと同系、平成の初め竹下内閣時、ふるさと創生事業でハイキングコースが整備されたと聞く。

アウトレット後方のコース入口に一歩踏み入れると、なだらかな砂山の起伏と灌木が織りなす明るい空間。アーチボ、ツゲ、ソヨゴ、ツツジなどが目隠の中へ進んで行くと、緑の羊歯類、日陰の植物が両脇にびっしり。右下に

鳴谷池を廻って、「経塚」の案内板を左に、歩き易い落ち葉の山道を三八四、八mの山頂に向かって登つて行く。鳴谷池への上り下りのコース

密かに眠る箱石山雲冠寺史跡

は、崩れ落ちる花崗岩の欠片で歩きにくいところが多いが、これから道は、なめらかで歩き易い。三十分程度で山頂を前にした雲冠寺跡へ行き着く。雲冠寺については、東本願寺僧侶寺本婉雅師が調査された資料が残されている。婉雅師は、明治から昭和を生きられた人。山面の仏巖寺の住持として在任中、明治四十二年から四十四年に山中へ足を運び、調査に心血を注がれた。

推古六年、聖德太子の創建との口碑により輝かしい史蹟を有している。

希望ヶ丘団地への降り道は、創生事業で作られた石畳、植生を踏み荒らさないための木橋など、訪れる人への気持ちも表れていて優しい。秋の七草もちゃんと根付いており、冬前に色づく葉、赤い実を付ける木々も良き存在である。今、この山を北限とする亜熱帯植物が絶滅危惧種として取り上げられ保護の必要性を迫られている。四季を通じて他府県からもビジターガ訪れ、鏡山の自然への関心度が高い。



る経塚や、この後ろ山頂側の稚児谷にある三mを超す巨岩に彫られた地蔵尊なども史実を語っている。

寺本師は、調査の過程で雲冠寺の遺跡として保存を図りたいと、四個の遺物を持ち帰り積み上げて、今も仏巖寺境内に祀られている。また、雲冠寺の地蔵尊と同型の石碑は、薬師、七里、山面、鏡などの村に地蔵盆の本尊として祀られ、他にも七里や鵜川の田畔に散在していたという。それから百年経た今、きっと田道の脇で鏡山を見上げ、村人を見守つてくれると確信する。

シリーズふるさと探訪(68)

「山の神 隨想」

昨年令和七年、干支は巳年であったが、一年を通して熊の被害が相次ぎ、クマ年のようであった。熊が市街地にまで出て人を襲うほどになつた理由は、エサの木の実の不作によるものであり、その不作の要因は昨夏の酷暑によるものであった。昔人なら、きっとこれは山の神の祟りとでも思つたであろう。「山の神」とは、山に宿り山を支配する神靈を指し、山林の守護神や、春になると里に下りて田の神となる豊穣の女神として信仰されている。最近はこうした「山の神」を祀る「山の神」の行事は、全国的に行なうことなくなつたものの、各地で様々に実施されている。行事は女性禁制。山の神は嫉妬深い女神であるという伝承から、神事に女性が加わることを禁じ、男性のみで執り行われる地域も多いそうだ。

七里の「山の神祭」

山の神の行事は龍王町七里では、「山の神祭」と呼ばれる。何年か前、この祭りを見学する機会があつた。会場は、石部神社の石段を下り右に進み、龍王

町薬師との境のあたりの善光寺川左岸で行われた。祭壇には、二m角大で竹を棚で二カ所作り、祭神としてオタイ、メタイと呼ばれる、陶器製の祭神を祀る。一昔前は、股木の松で作った男女の人形の上部に顔を描き陰陽をつけたものだつたそうである。聞くところによると、そのような股木は、山に入つて懸命に探しても、めつたに見つかるものではなく大変な苦労だったと聞く。御幣を平年十二本（閏年は十三本）立て、注連縄を張つて、松と榦を両側に立ててあつた。神饌には、焙烙（ほうらく）で煮た豆飯、甘酒、御神酒、鰯七尾を供えられた。供え物を神社から運ぶ道中、一同は静かに「山の神のチヨウーサイ、チヨウーサイ」（朝祭の意味か？）と言つて囁き、榦のカギを注連縄に掛けて引つ張る。最後に甘酒や豆飯を頂いて、祭りが終わる。祭りといえども、決して賑やかではない、静謐な祭。寒風吹く一月の日にひつそりと厳かに行われるのを見学し、何か、心に沁みる気持ちになつた。因みに「山の神祭」は、同町の山中、薬師でも同

山本 茂氏（美松台）

様に行われることである：閑話休題。

といえる。

このように森林は、木材の供給だけでなく、水源の涵養や国土の保全など、多面的な機能を持つている。これらの機能を将来にわたつて十分に發揮させたためには、植栽や間伐などの適切な森林整備を行い、豊かな山、健全な森の育成を図ることが重要である。

日本の林業政策と課題

本来、日本の山の生態系は、木材の原料となる常緑針葉樹と、水質浄化機能がある落葉広葉樹の共生によるバランスのとれた多様性のあるものであった。（水質浄化機能とは、落ちた葉が微生物によって分解されて、腐葉土ができるではなく大変な苦労だったと聞

く。御幣を平年十二本（閏年は十三本）立て、注連縄を張つて、松と榦を両側に立ててあつた。神饌には、焙烙（ほうらく）で煮た豆飯、甘酒、御神酒、鰯七尾を供えられた。供え物を神社から運ぶ道中、一同は静かに「山の神のチヨウーサイ、チヨウーサイ」（朝祭の意味か？）と言つて囁き、榦のカギ

を注連縄に掛けて引つ張る。最後に甘酒や豆飯を頂いて、祭りが終わる。祭りといえども、決して賑やかではない、静謐な祭。寒風吹く一月の日にひつそりと厳かに行われるのを見学し、何か、心に沁みる気持ちになつた。因みに「山の神祭」は、同町の山中、薬師でも同

自然破壊の引き金にもなる恐れがある



所さんの目がテン！「かがくの里」プロジェクト

十一年前位からだらうか、日本・読売系のテレビの番組で「所さんの目がテン！」（毎週日曜午前放映）の連載企画の中で、茨城県常陸太田市にある里山の再生を目指す「かがくの里」プロジェクトが始まった。科学の力で自然の働き、恵みを楽しく体感する学習番組なのだが、これが非常に面白く興味深い。大学の先生や農林業の専門家、地元の人々の協力によって衆を集め、荒れた土地を、農薬を使わない方法や土壤改良、間伐などで再生する画期的な取り組みだった。農業、林業、養殖業などを組み合わせ、持続可能な里山の活用法を模索し、豊かな生態系を復活させて、生物多様性を取り戻す长期実験となっている。実験といえども、既に絶滅危惧種のタガメの出現や、ニホンウナギの養殖に成功し、収穫祭が開催され、その取り組みが番組で紹介されるほど大きな成果をあげていた。

里山再生の活動は、徐々に拡がり、ネットワークを結ぶほどになつていて、国や地方自治体においては、一層の支援を強化し、活動を加速させて欲しいものである。また、我々も我々なりに、故郷の山の多様性を願い関心を持つて見守ろう。十年後、五十年後になろうとも、国中の山々を、豊かで実り多き山容となして、あの「山の神」に喜んで頂こうではないか！

♪山は青きふるさと～水は清きふるさと～を

二月七日（土）～三月十五日（日）

竜王町総合庁舎、公民館、

図書館、牟禮山観音禪寺、

一月二十四日（土）午前九時より
駕輿丁延命子安地蔵尊御開帳

一月二十四日（土）午前九時、十時、
ご祈祷は午前九時、十時、
十一時より
午後は数珠繰り法要

一月二十一（水）～
二月二十四日（火）
草津近鉄一階食品売り場
近江路（竜王町・米原市）
開催
地元特産品販売

五月五日（火祝）
綾戸・苗村神社
節句祭・流鏑馬神事

五月三日（日祝）
山之上・杉之木神社界隈
ケンケト祭り

一月十四日（水）午後一時より
田中八幡神社
粥占い

二月二十一（水）～
二月二十四日（火）
草津近鉄一階食品売り場
近江路（竜王町・米原市）
開催

四月十九日（日）今年より
綾戸・苗村神社
苗村祭（例大祭）
斎行日変更

二月八日（日）午後一時より
七里・石部（いそべ）神社
弓始め神事

道の駅アグリパーク竜王、道の駅竜王かがみの里、毛利志満、岡喜本店の八箇所で展示

一月十一日（日）午後一時より
七里・石部（いそべ）神社
弓始め神事

今後のイベント・祭典情報

あとがき



新年明けましておめでとうございます。
昨年は色々とお世話になり有り難うございました。本年も宜しくお願ひ申し上げます。

例年早春に開催していました『鏡の里元服式』を十一月二十二日（日）に変更します。

このことは、昨年来宮司さまや区長さま、神社役員さまとの協議を積み重ね、錦秋の十一月二十一日（土）から二十三日（月祝）までの三連休の開催となります。式典への参加者や見物される方々をお迎えし、イベントの盛り上げと地域の活性化を目指すことから開催日を変更します。当日は、在阪テレビ局クルー

や新聞記者の皆さままで境内は賑わいの中、参加者へのインタビュー等が昼間や夕方以降のニュースで放映されます。

この『鏡の里元服式』は、承安四年（一一七四）三月三日に源義経（幼名牛若丸）が鏡池で元服し源氏の再興と武運長久を鏡神社で祈願したとの言い伝えにより当時を偲んだイベントです。『鏡の里元服式』は、人生における入学や卒業、就職や退職、結婚やお子様の誕生等、人生の色々な節目をお祝いし、これから糧を見出していくだく記憶に残る式典



この趣旨から地元をもつと盛り上げようと地域内からの参加者を大歓迎します。